



## ✿保護者の声✿



私は2児の母です。上の子と下の子の差が1歳10か月と近い事もあり、上の子は2歳になる前にお姉ちゃんになりました。一番甘えたい時期に、十分甘えさせてあげることができず、縦割りクラスのウルスラ幼稚園に通わせてあげる事で、年長さん年中さんから大切にかわいがってもらえるのではないかと思いました。また、下の子は下の子でいつまでもお世話される立場ではなく、年長になった今、我が家では末っ子ですが、園では“自分が一番お兄ちゃんなんだから”と、下の子たちのお世話をしあげられる、やさしい子に育ちました。縦割りでのクラスは子ども達が自然と自立できるのだと思います。そして、我が子に共通して言える事は、モンテッソーリの教育により、他の園に通う子より早くから蝶結びや折り紙等が上手にでき、手先が器用で、細かいことがすんなり出来る様になっていました。指先を使うことにより、集中力もいつの間にか身に着いていて、驚かされることがあります。また、カトリックの園ですので、お祈りに始まり、お祈りに終わる1日も、子ども達一人一人が自分に向き合ういい時間になっているように感じます。親でもなく、先生でもなく、“神さま”という目には見えなくても大きな存在を、身近に感じることが出来る環境に感謝しております。園で過ごす時間は、沢山の愛に包まれていて、子ども達にとっても貴重な時間です。この園を選んで本当に良かったと心から思います。  
(姉が卒園生で年長男児の母)

上の子が卒園し小学校で色々なお友達ができて特に思うこと。ウルスラ卒の子ども達は優しい、相手の事が思える、落ち着いて話が聞けるということです。今は運動や勉強など、一つのことに特化した幼稚園も多いけれど、ウルスラ幼稚園は心豊かに育ててくれ、日々のお祈りなどで、落ち着いた心を持つ事も身につけているなど感じます。  
(兄が卒園生で年長と年少男児の母)

ウルスラ幼稚園に入園して、わくわくデーなどの準備やお手伝いで、子ども達としっかり関わる事ができるのが良かったです。大変だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、子どもが小学校になってしまうと、親が一つの行事を通してしっかりと関わる事も無くなってしまいますので、幼稚園だけでも、どの様に楽しんでいるのか様子を見て、親子で楽しんで良かったです。  
(年長女児の母)

私がウルスラ幼稚園に決めた一番の理由は穏やかな雰囲気でした。初めて見学に行った際、園内の時間がゆっくり流れている感じがした事をよく覚えています。入園後もそれは変わらず、更にウルスラには卒園生の先生が何人もいらっしゃる事を知り、戻ってきたくなる園って素敵だなあと思いました。娘も幼稚園が大好きで、先生のマネをしている姿をよく見かけます。もしかしたら将来先生になって戻ってくるかな？と今から楽しみです。あと半年もない位で卒園してしまうのはとても寂しいです。そう思える事が出来て本当に良かったと心から思っています。  
(年長女児の母)

- ★縦割りクラス…年上の子が年下の子を手伝い、お世話をする事を学び、それを通して他の人に優しくできる心が育まれる。
- ★宗教…神さまを信じる事で、目に見えないものでも信じられる様になる。
- ★先生方がとても親身になって優しく、時には厳しく子どもの事を考えて接して下さる。
- ★保護者の方々も協力的で落ち着いた優しい方ばかりです。  
(姉が卒園生で年長女児の母)

ウルスラ幼稚園では、未就園児クラスから“モンテッソーリ教育法”を用いていらっしゃいます。まだ3歳だった活発な息子もモンテッソーリ教具の時間になるとピタっと集中し、真剣な眼差しで取り組んでいたのを思い出します。入園後も教室に色々な種類の形や材質の教具が置かれていて、子ども達の繊細な五感を成長・発達させてくださっていると思います。小学校に進学してもこの事を役立てて行って欲しいです。  
(年長・年少男児の母)

ゆり組(満三歳児)からお世話になりました。ウルスラ幼稚園に出会えて良かったです。見学に来た時に温かく迎えて頂いた事を今でも忘れられません。縦割りクラス、モンテッソーリが良く、しかもシスターが沢山いらっしゃり、こちらにお世話になる事にしました。小学校にあがった今でも、心やさしい子に育ってくれたのでは！？と思っています。シスターや先生方、いろんな方に出会えて本当に楽しい園生活だったと思います。  
(姉が卒園生で年長女児の母)

ウルスラ幼稚園では、毎日お祈りしたり、シスターや先生から神さまのお話を聞いたりします。ある日娘が園から帰って「私もパパもママもみんな神さまの子っちゃんね」とすごく誇らしい顔で帰ってきました。いつも神さまは見ていて、自分やみんなを愛してくれているというお話を聞いたようでした。日本の子どもは自分を「かけがえのない大切な存在」「社会の中で必要とされている」と感じている割合が、世界の中でもとても低いと報道されていました。その中で生きていく子ども達に大切な、自分を大事に思う心を育てていただいていると実感しています。また、毎日のお祈りの中に「世界のおともだちも楽しく過ごせますように…」ということばがあります。きっと自分を大切にすることは他人を大切にすることにもつながっていると思います。一人一人を大切にしてください先生、シスター方ややさしいお友達に囲まれて毎日楽しく通園しています。  
(二人の姉が卒園生で年長女児の母)

